

全建総連発第 65-81 号
2025 年 3 月 7 日

各県連・組合 殿

全国建設労働組合総連合
中央執行委員長 鈴木 貴雄
技術対策部長 松葉 晋平
組 織 部 長 竹谷 英幸
全国青協議長 小西 祐樹

全建総連第 41 回全国青年技能競技大会の開催について①

連日の奮闘、大変ご苦労様です。

さて、全建総連では、青年技能者に努力目標を与えること、技能尊重気運の醸成を図ることを目的に、今年も標記大会を開催致します。

つきましては、各県連・組合からの参加選手・引率者の派遣をお願い申し上げます。

記

1. 日程及び競技会場 （詳細は P9～の『開催計画』をご確認ください。）

(1) 日程 2025 年 9 月 13 日(土)～15 日(月・祝)

(2) 会場 山口県山口市「維新大晃アリーナ」

2. 交通、宿泊、期間中の移動方法など

(1) 「維新大晃アリーナ」までの交通について

参加申込いただいた選手・引率者用に「山口宇部空港」および「JR 新山口駅」から送迎バス手配を予定します。配車台数を決めるため、希望する利用場所・利用時間をお知らせください(「手配バスの利用希望調査票」を 5 月末までにご返信ください)。

(2) 宿泊ホテル、夕食懇親会場

1) 宿泊ホテルは「JR 湯田温泉駅」周辺のホテルとなります。

2) 昨年と同様に 13 日の夕食懇親会は全体では行いません。選手・引率の皆さんは各自でご手配ください。競技終了後となる 14 日の夕食懇親会はかめ福オンプレイスを予定。

(3) 期間中の移動方法

期間中の移動は専用手配バスおよび徒歩を予定しています。

バス停留所 (かめ福オンプレイス建物前に設定) ⇄ 維新大晃アリーナ (手配バス)
バス停留所・夕食会場 ⇄ 各ホテル (徒歩)

(4) 周辺地図および会場までのアクセス



3. 参加費（宿泊、食事、バス含む）

(1)選手 2泊4食で23,000円（38,000円のうち全建総連が15,000円補助）

(2)引率者 2泊4食で38,000円

※食事は、14日朝昼夕、15日朝の4食です（選手・引率者の14日夕食は各自でご手配ください）。

4. 宿泊施設、競技課題、参加資格、その他大会概要

後掲の『実施要領』『開催計画』『競技課題』等をご覧ください。

5. 申し込み及び予選大会開催報告書等について

出場及び宿泊申込書、予選大会開催報告書、写真撮影申請書につきましては、7月頃發文予定の「開催について②」でご案内差し上げます。

6. 今大会のポスターについて

昨年お申し込みいただいた部数をもとに3月中着で送付します。追加希望される場合は、在庫の限り対応いたしますのでご連絡ください。また、送付の際はポスターのPDFデータをあわせてお送りしますので、チラシとして幅広くご活用ください。

7. 県連・組合等が主催する技能講習会への指導員派遣について

要望に応じて、県連・組合、地協、青年部等が主催する青年技能競技大会向けの技能講習会に中央技能検定委員を派遣します。なお、全建総連が旅費と講習会資料代を負担し、講習会主催者が講師謝金、宿泊費を負担いただくこととします。希望される県連・組合は全建総連技対部までお早めにお問い合わせください。

派遣についての詳細は、全建総連発第58-66号(2018年3月1日付)に定めています。

8. メラピ販売業者の紹介

全国青年技能競技大会の課題材料として使用するメラピの販売業者(東京)を紹介します。部材の費用は1セット7800円(税別、コンパネ、削り台、金具を含まず)+送料となっています(25年3月現在)。希望される県連・組合は、全建総連技術対策部まで希望日の2か月前までにご連絡下さい。

9. 選手募集用DVDやYouTube動画の活用

全国青年技能競技大会への選手募集用DVDを作成し、2019年12月に各県連・組合に送付しています(全建総連発第60-30号「全建総連全国青年技能競技大会 選手募集用DVDの送付について」参照)。また、第37回大会を6分程度にまとめたYouTube動画もアップしていますので、積極的にご活用ください。

選手募集DVD <https://zenkensoren.box.com/s/3vq892qw0719kd91q0mmlwvu2e4shzb9>

37 回大会動画 https://www.youtube.com/watch?v=NbPIKjtZ_1g&t=5s

10. 第 41 回大会出場選手の CCUS 技能者登録推進について

CCUS 登録を推進し、将来にわたってキャリアに応じた適正処遇を受けるための環境を若年のうちに整えるため、第 41 回大会出場選手(予選会除く)を対象に CCUS 技能者登録手数料(詳細型 4900 円)の全額を助成します。対象は競技大会初日までに技能者登録(詳細型)を行った者としていきます。申請手続き等については「開催についてその②」でご案内します。

11. その他

- (1) 参加選手が競技に集中できるよう、なるべく引率者を派遣して下さい。
- (2) 「選手・指導員用」の課題図面を添付しますので、ご活用下さい。
- (3) 大会に関するお問い合わせは、全建総連技術対策部までお願いします。

【実施要領、競技課題等の主な変更点】 変更箇所は、**黄色網赤字**になっています。

【実施要領】

- ・ 予選会を開催した場合の出場資格及び定数を 16 人以上参加で 4→5 人、8 人以上参加で 3→4 人、8 人未満参加で 2→3 人に変更。予選会実施されない場合の 2 人は変更なし
- ・ 出場資格に「競技時間内に課題提出を見込まれる者」を追記

※本文書は、各県連・組合の他、技対担当副委員長、技対担当中執、建築大工職種中央技能検定委員、全国青年部協議会役員に送付しています。

全建総連全国青年技能競技大会 実施要領

1. 名称

この大会は、全建総連全国青年技能競技大会（以下「大会」という）と称する。

2. 目的

大会は、全国の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えると共に、技能尊重機運の醸成を図ることを目的とする。

3. 実施主体

大会は、全国建設労働組合総連合（以下「全建総連」という）が主催するものとする。

4. 組織

(1) 大会に、次の役員を置く。

大会会長（以下「会長」という） 1名

大会副会長（以下「副会長」という） 1名

大会役員（以下「役員」という） 若干名

(2) 大会を運営するために、会長の下に、競技委員会、運営委員会を置く。

(3) 会長は、中央執行委員長が就任する。

(4) 副会長には、技術対策部担当副中央執行委員長が就任する。

(5) 大会役員には、技術対策部中央執行委員及び組織部中央執行委員が就任する。
組織部中央執行委員は若干名とする。

(6) 競技委員会に、委員若干名を置く。必要に応じて特別競技委員若干名、競技委員補佐若干名を置く。

(7) 運営委員会に、委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

(8) 各委員会の委員長、副委員長、委員は、会長が委嘱する。

5. 会長等の職務

(1) 会長は、大会業務の全般を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その業務を代行する。

(3) 役員は、会長、副会長を補佐する。また、審査区域（審査業務を行っている範囲）以外の運営・管理をする。

(4) 委員会の副委員長は、委員長を補佐する。

6. 委員会の委員の構成及び業務

各委員会の委員の構成及び業務は、次の通りとする。

(1) 実行委員会

①実行委員会は、会長、副会長、役員及び競技委員、運営委員で構成する。

必要に応じて、開催都道府県の県連・組合の役員が参加する。

②実行委員長は、会長が兼務する。

(2) 競技委員会

①競技委員は、全建総連推薦の建築大工職種中央技能検定委員が務める。

②競技委員は、審査区域の設営・管理、競技審査、使用工具、材料の交換の判断等、競技に関わる技術的内容を業務とする。

③競技委員補佐は、競技委員を補佐する。

④競技委員補佐は、開催都道府県の県連・組合から優秀な技能を有するものが務める。

(3) 運営委員会

①運営委員会は、全国青年部協議会議長を委員長とし、技術対策部長及び組織部長が副委員長を務める。委員は全国青年部協議会幹事が務める。

②運営委員は、会場設営、競技区域内の設営・管理及び競技運営等を業務とする。

(4) その他

①競技区域内は、役員、競技委員、運営委員、事務局以外は、立ち入ることが出来ない。ただし、開催都道府県の県連・組合の役員など、実行委員会等で必要と認められた者については、この限りではない。

②審査区域内は、競技委員、運営委員、事務局以外は、立ち入ることが出来ない。

7. 任期

役員及び委員の任期は、大会の業務に必要な期間とし、会長がこれを定める。

8. 後援

大会の円滑な開催のため、厚生労働省、国土交通省、林野庁、都道府県のほか、必要に応じて関係行政機関、又は団体に後援を要請する。

9. 開催計画

大会の競技会場、日程等は、大会ごとに毎年度、会長が開催計画を定める。

10. 出場資格及び定数

(1) 全建総連の組合員で開催年度（4月1日に始まり、翌年3月31日まで）において、満36歳以下の者で、競技時間内に課題提出を見込まれる者。

(2) 過去の大会において、金賞を受賞したものでない者。

(3) 県連・組合で実施される予選大会で16名以上の参加の場合は、優秀な成績を収めた者（5名）。

(4) 県連・組合で実施される予選大会で8人以上の参加の場合は、優秀な成績を収めた者（4名）。

- (5) 県連・組合で実施される予選大会で8名未満の参加の場合は、優秀な成績を収めた者 **(3名)**。
- (6) 県連・組合で予選大会が実施されない場合は、県連・組合が推薦する者(2名)。
- (7) 開催都道府県の県連・組合については、上記(3)(4)(5)(6)の他に、県連・組合が推薦する者(1名)。
- (8) 上記の(3)～(7)とは別に女性枠として、県連・組合が推薦する者(2名)。
- (9) その他、特別な事由がある場合は上記(1)～(8)に追加して開催計画で当該大会限りの出場資格及び定数を定めることができる。

11. 参加費等

選手の宿泊費については、全建総連が一定額を補助する。

12. 表彰

- (1) 大会における成績優秀な者に対して、次の表彰基準により表彰を行う。
 - ①金賞 1名
 - ②銀賞 2名
 - ③銅賞 3名
 - ④入賞 若干名
 - ⑤奨励賞 (上位30名の内、①～④以外の者)
 - ⑥特別賞 若干名
 - ⑦金賞受賞者の所属県連・組合
- (2) 必要に応じて厚生労働大臣賞、国土交通大臣賞、林野庁長官賞、厚生労働省人材開発統括官長賞、国土交通省住宅局長賞を関係省庁に申請する。

13. 事務局

- (1) 大会の事務を取り扱うための事務局は、技術対策部及び組織部の書記、全国青年部協議会総務、その他必要と認められる者で構成する。
- (2) 事務局の長は、技術対策部書記とする。

附則

- (1) 実施要領の改廃、及び大会の運営に関し必要な事項は、組織部及び全国青年部協議会の意見を受け、技術対策部会で承認を得るものとする。

制定・改正履歴

- (1) 2008年5月制定 第24回全国青年技能競技大会から適用
- (2) 2012年1月一部改正 第28回全国青年技能競技大会から適用

- (3) 2013年1月一部改正 第29回全国青年技能競技大会から適用
- (4) 2015年1月一部改正 第31回全国青年技能競技大会から適用
- (5) 2017年1月一部改正 第33回全国青年技能競技大会から適用
- (6) 2018年1月一部改正 第34回全国青年技能競技大会から適用
- (7) 2021年1月一部改正 第37回全国青年技能競技大会から適用
- (8) 2025年1月一部改正 第41回全国青年技能競技大会から適用

全建総連第41回全国青年技能競技大会 開催計画

1. 主催

全国建設労働組合総連合 〒169-8650 東京都新宿区高田馬場 2-7-15
TEL : 03-3200-6221 / FAX : 03-3209-0538

2. 後援 (予定)

厚生労働省、国土交通省、林野庁、山口県、山口市、
中央職業能力開発協会、一般社団法人日本建設業連合会

3. 競技会場及び開・閉会式場

「維新大晃アリーナ」 競技会場：アリーナ、開閉会式：レクチャールーム (予定)
〒753-0815 山口市維新公園 4 丁目 1 番 1 号
TEL : 083-922-2754

4. 宿泊施設 (予定)

① グリーンリッチホテル山口湯田温泉

山口県山口市湯田温泉 4-7-11 TEL : 083-923-6000

② ホテルルートイン山口 湯田温泉

山口県山口市泉都町 9-1 TEL : 050-5576-8001

③ ホテル喜良久

山口県山口市湯田温泉 4-4-3 TEL : 083-922-0333

④ ビジネスホテルうえの

山口県山口市湯田温泉 1-1-38 TEL : 083-922-6600

※2 日目 (9 月 14 日) の夕食懇親会は「かめ福オンプレイス」を予定

5. 日程

2025 年 9 月 13 日 (土) ~ 15 日 (月)

(1) 9 月 13 日 (土)	14 : 00 ~ 15 : 00	受付
	15 : 00 ~ 16 : 30	開会式、課題説明
(2) 9 月 14 日 (日)	09 : 00 ~ 15 : 45	競技 (途中で 45 分間休憩)
(3) 9 月 15 日 (月)	09 : 00 ~ 11 : 00	作品展示、成績発表、閉会式

6. 課題 四方転び踏み台

7. 競技時間 標準時間 6 時間 (打ち切り時間)

8. 出場資格及び定数

- (1) 全建総連の組合員で開催年度（4月1日に始まり、翌年3月31日まで）において、満36歳以下の者で、競技時間内に課題提出を見込まれる者。
- (2) 過去の大会において、金賞を受賞したものでない者。
- (3) 県連・組合で実施される予選大会で16名以上の参加の場合は、優秀な成績を収めた者（5名）。
- (4) 県連・組合で実施される予選大会で8人以上の参加の場合は、優秀な成績を収めた者（4名）。
- (5) 県連・組合で実施される予選大会で8名未満の参加の場合は、優秀な成績を収めた者（3名）。
- (6) 県連・組合で予選大会が実施されない場合は、県連・組合が推薦する者（2名）。
- (7) 開催都道府県の県連・組合については、上記（3）（4）（5）（6）の他に、県連・組合が推薦する者1名。
- (8) 上記の（3）～（7）とは別に女性枠として、県連・組合が推薦する者（2名）。

9. 出場者数 約60～75名

10. 宿泊費

- (1) 選手については、2泊4食で3万8千円（うち、全建総連が1万5千円補助とする）。
- (2) 引率者については、2泊4食で3万8千円とする。

11. 表彰

- (1) 大会における成績優秀な者に対し、表彰基準により表彰を行うものとする。
- (2) 金賞、銀賞、銅賞を受賞した者を全建総連第66回定期大会（佐賀県）に招待し、金賞受賞者の所属県連・組合と共に表彰する。

12. その他

(1) 実行委員会体制

中央執行委員長を大会会長、技術対策部担当副中央執行委員長を大会副会長とし、大会役員（技術対策部・組織部中央執行委員）、中央技能検定委員（建築大工職種）を委員とする競技委員会、全国青協議長を運営委員長とする運営委員会をもって、実行委員会を構成する。

(2) 順位及び点数の公表

大会の公平性・透明性確保のために、事前に現寸図、総合的な出来栄えの合計点数配分を公表する。

また、終了後には上位30名（予定）の氏名、県連・組合名、合計点数、現寸

図・総合的な出来栄えの点数配分、百分率を、大会終了後に文書で公表する。

全建総連第 41 回全国青年技能競技大会 競技課題

課題図に示す支給材料を用いて、仕様概要に従い「四方転び踏み台」を製作しなさい。

1. 競技時間 標準時間 6 時間（打ち切り時間）

2. 材料

- (1) 支給材料の断面寸法は、仕上がり寸法より 1 mm 大きく、機械かんな削りされたものである。材料の樹種は「メラピ」とする。
- (2) 選手 1 人につき、丁板 90mm を 2 枚、掛金 300mm を 1 丁、削り台 1 本（1500×105×105 程度/mm）、加工台 2 本（400×105×105 程度/mm）、削り台止め 1 本（300×40×30 程度/mm）、あて木 2 個（150×36×30 程度/mm）、1 m の直定規、接着剤（木工用ボンド）を支給する。
- (3) 支給材料の交換については、競技委員（中央技能検定委員）、または運営委員の判断により行うものとする。
- (4) 競技開始後の支給材料の交換には原則として応じない。

支給品（単位：mm）			
天板	850×111×31	1 枚	
柱	700× 51×31	4 本	
貫	A	470× 61×31	1 本
	B	420× 41×31	1 本
	C	540× 41×31	1 本
	掛 金	(300)	1 本
金物	丁板鉄 90× 55	2 枚	

3. 仕様概要

- (1) 課題は 10 分の 3 勾配とする。
- (2) 作業順序
現寸図の製作（提出）→部材の木削り→墨付け→加工仕上げ→組み立て（提出）
- (3) 現寸図の製作
 - ①現寸図は、ケント紙（1091×788mm 程度） 2 枚へ明確に表現すること。
 - ②課題図により、部材の墨付け・工作などに必要とする、真墨・陸墨・取合墨その他の墨を示す。なお、選手が墨付けに必要と思われる規矩上の図面などは、書いても差し支えない。
 - ③現寸図の配置は、課題図に示してあるものを参考として下記の現寸図を書くこ

と。天板平面図、正面図、側面図、柱展開図、基本図（100mmを基本とし各名称を入れる）、柱のくせ（木口）とし、天板平面図及び正面図は中心線より右半分とする。ただし、重複しないこと。なお、柱展開図（側面）にA貫、およびB・C貫の位置を書き入れる。

④現寸図が書けた選手は、現寸図右下に席番号のみ記入し、運営委員に申し出る（採点后返却する）。

注）現寸図の採点・返却には一定の時間を要するため、提出後の作業に支障を来たすと考えられる場合は、提出前に各自必要な対応を図ること。

（4）木削り

①支給材料は、課題図・現寸図の仕上がり寸法に正しく木削りする。

②柱はくせを取り仕上げる。

（5）墨付け

①部材の墨付けは、墨さし、鉛筆又はしらびきとする。

②部材の墨付けは、工作に必要なすべての墨付けを行うこと。

③ほぞおよびほぞ穴は、けびきでもよい。

（6）各部材の仕口

①下記に示す部材の仕口により、必要なる工作を行い、部材の見え掛かりとなる木口は、すべてかな削り仕上げとし、接合部分を除き、糸面取り（1mm程度）とする。

②天板と柱の取合 打ち抜きほぞ差し

③柱と貫 打ち抜きほぞ差し（正面は欠取り）

（7）組み立て

①組み立てに入る前に作業場を清掃し、組み立てる。

②丁板の取り付けは、天板下端に外側から30mmで当り欠きをして取り付ける（木ねじはドライバーで締め付ける）。

③掛金は右側面に取り付ける（課題図参照）。

④課題は接着剤（木工用ボンド）を使用し、くぎ及びくさび打ちをしてはならない。

（8）課題の提出

①組み立てが完了した選手は、席番号を記入した荷札を課題（掛金）に付けて、運営委員に申し出る。

②課題とともに、現寸図を提出する。

③提出された課題には、いかなる理由があろうとも、選手はいっさい手を触れることはできない。

4. 作業スペースについて

（1）作業スペースとなる「競技エリア」は、1820×1820mm程度（合板2枚分）とする。

（2）競技エリアには荷物置場として別途455×1820mm程度のスペースを用意する。

5. 持参工具等について

区分	品名	寸法又は規格	数量	備考
工具類	墨つぼ、墨さし		適当数	
	さしがね	メートル 250～500	適当数	
	まきがね(スコヤ)		適当数	
	自由がね	任意	2	工作用型板類の使用は禁止。
	ひらかんな	荒、中、仕上げ	適当数	替え刃式も可。
	のみ		適当数	種類は自由。
	のこぎり		適当数	両刃、方刃のこぎり。 替え刃式も可。
	けびき(副尺付きけ びきを含む)	任意	2	市販、またはそれと同等のもの。
	げんのう	大、小	適当数	
	きり		適当数	予備の持参可。
	はたがね		1組	クランプ(有効30cm以内)でも可。 <u>柱、貫、天板に関する胴付の締め付 けは禁止。</u>
	かじや(パール)		適当数	
	ドライバー		適当数	スクリュードライバーでもよい。充 電式は可。穴あけ可。
	くぎしめ		適当数	
	しらびき(白書き)		適当数	カッターも可
羽根虫、くぎ、ビス		適当数	削り止め用	
作図用	三角定規	市販品に限る	適当数	固定用の画鋸類、セロテープ、かる こはよい。1面に対し、5mmまたは 10mm幅のライン計2本、3面で最大 6本まで可。それ以外のラインが入 ったものは使用禁止。市販品であっ ても方眼三角定規は不可。
	コンパス	任意	適当数	
	鉛筆及び消しゴム		適当数	シャープペンシルも可
その他	研磨用砥石		適当数	
	養生用具		適当数	部材工作の下敷き
	清掃用具		適当数	ホウキ、チリトリ

				※鉋屑を入れる土のう袋は支給する
	小型の置時計		適当数	
その他	その他		適当数	市販品のブラシ、雑巾、きりふき

6. 禁止事項

以下、減点及び競技中止の対象となる場合があります。

- (1) 服装は競技に相応しいものとする（裸足・サンダル（クロックス）は禁止。履物は足袋、草履等が望ましい。靴下での作業については、現寸図作成の際は認めるが、加工時は認めない）。
- (2) 工具箱類を、削り台、加工台等として使用しないこと。
- (3) 工具類に型や定規等を取り付けないこと。けびき、自由がねは、競技開始まで固定しないこと。
- (4) 競技開始の合図があるまでは、かんなの刃の調整以外（削り台、加工台及び削り台止め、あて木を加工すること。ケント紙の固定（固定する為のテープ等の準備含む））は禁止する。
- (5) 競技区域への持込禁止
 - ・ 課題に参考となるメモ、目盛、角度などのある物。
 - ・ 携帯電話
 - ・ 直定規（1 m）、あて木（これらは会場で支給する）。
 - ・ デジタル表示が付いた工具等（電卓を除く）
- (6) 電卓は種類を問わず使用してもよいが、プログラム等の事前入力は不可。

7. 注意事項

- (1) 競技開始前に持参工具を点検するので、課題説明後、自分の競技区画に入ったらすぐに通路側に用意すること。
- (2) 工具類は、できるだけ施錠のできる工具箱に格納すること。
- (3) 工具類は、規定の範囲内で必要数を確実に用意すること。
- (4) 自分の競技エリア外（通路）に物を置かないこと。削り台等も通路にははみ出さないこと。

全建総連第 41 回全国青年技能競技大会 基本的採点項目

A. 現寸図

1. 平面図
 - ①天板の長さ、幅
 - ②穴、位置
2. 側面図
 - ①全体の高さ
 - ②貫までの高さ
 - ③柱の幅
 - ④柱の開き
 - ⑤正面の柱、貫の位置、幅、成、穴、欠き込み
 - ⑥裏面の柱、貫の位置、幅、成、穴
 - ⑦天板のほぞ穴の位置
3. 正面図
 - ①天板の厚み
 - ②中心線
 - ③貫と天板の高さ
 - ④柱の開き
 - ⑤柱と貫の幅
4. 展開図
 - ①柱の長さ
 - ②柱の幅
 - ③ほぞの穴
 - ④柱の欠き込み
 - ⑤貫の位置と穴
 - ⑥柱のくせ
5. 基本図
 - ①爰
 - ②勾
 - ③中勾
 - ④長玄
 - ⑤短玄
 - ⑥小爰
 - ⑦小中勾

4. 右後ろの柱を基準にした3本の柱のずれ
5. 天板のずれ
6. 掛金の取り合い
7. 丁板の取り付け
8. がたつき
9. かんな仕上げ
10. 面取り、木口仕上げ
11. 全体的な出来ばえ

C. 製品寸法の精度

1. 天板の幅、長さ、厚さ
2. 貫のほぞの寸法
3. 柱の幅、長さ、貫までの高さ
4. A貫の成、幅、長さ
5. B・C貫の成、幅、長さ
6. 天板のほぞの寸法

D. 製品の接合部の寸法

1. 各所取り合い
 - ①柱と天板
 - ②A貫と柱
 - ③B・C貫と柱
2. 各所すき間
 - ①天板とほぞ
 - ②A貫と柱 ほぞ欠き込み
 - ③B・C貫と柱

E. 作業態度（服装含む）

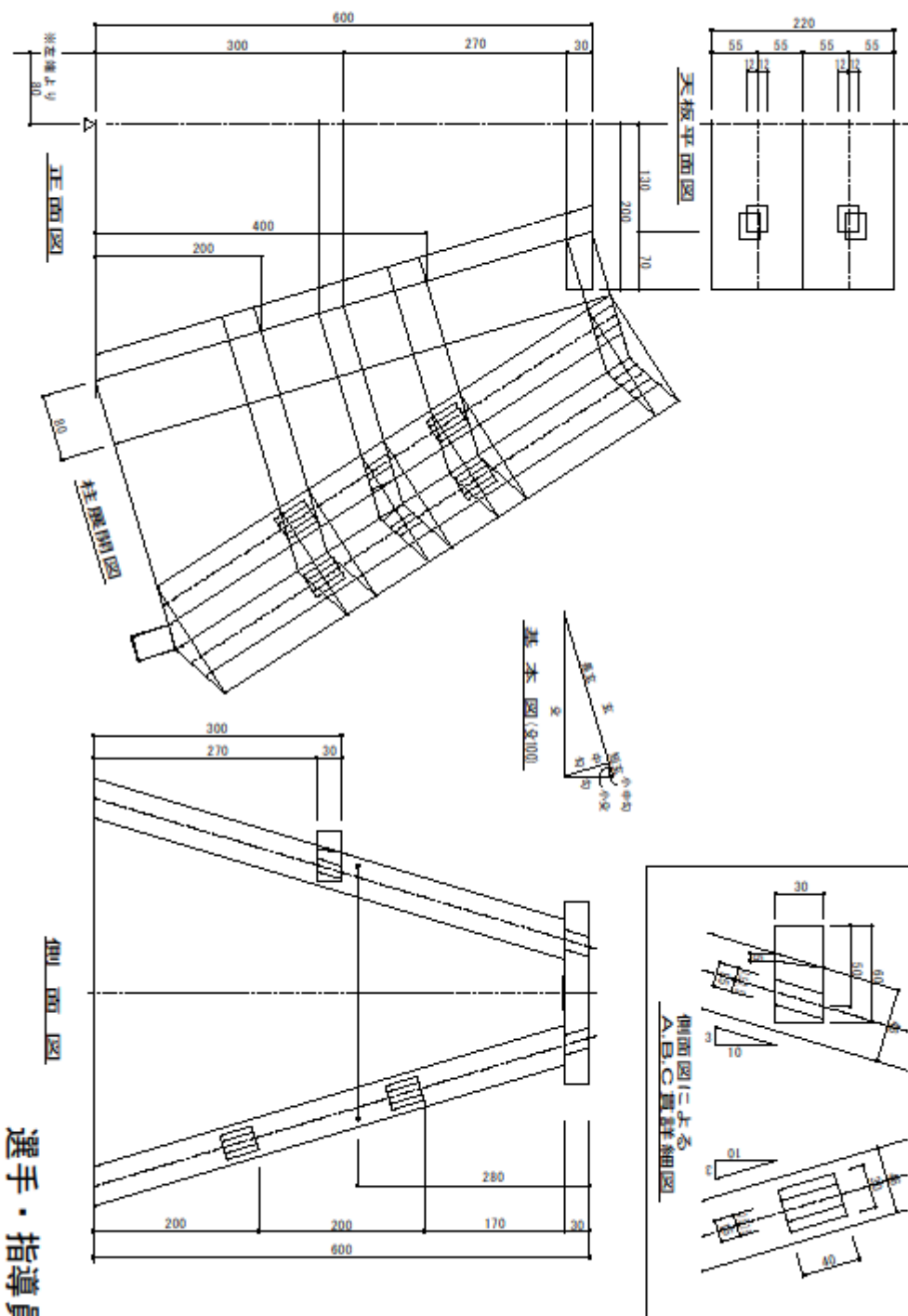
F. 仕様誤り

B. 総合的な出来ばえ

1. 貫の上端までの高さ
2. 天板までの高さ
3. 柱のくせ

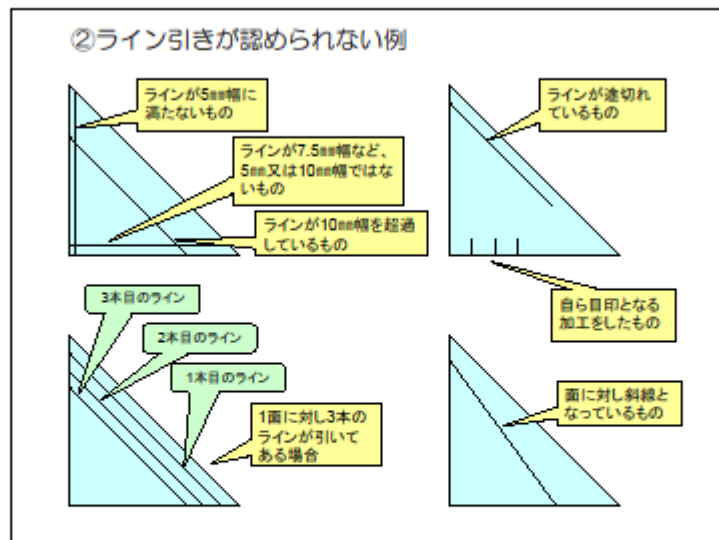
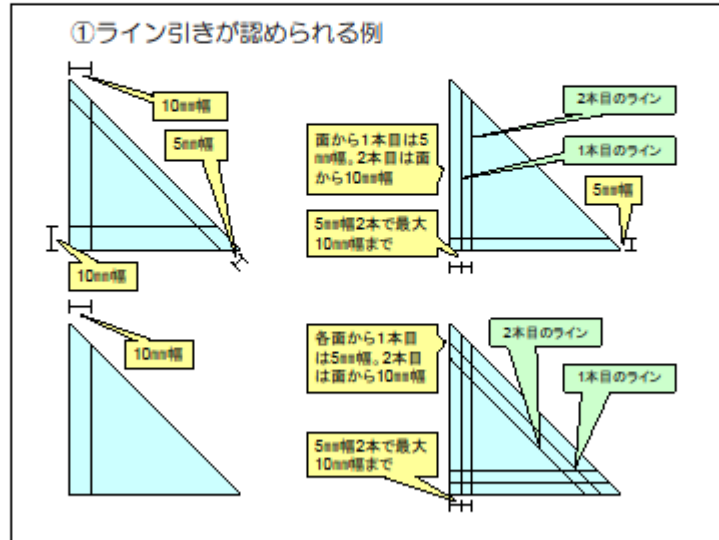
A. から F. までの各項目について採点し、総合計点数の高い者を上位入賞者として、各賞を付与することとする

全建総連 第41回全国青年技能競技大会 課題詳細図



選手・指導員用

全国青年技能競技大会
三角定規の取り扱いについて



2008年5月21日全建総連事務連絡
「持参工具(三角定規)の取り扱いについて」